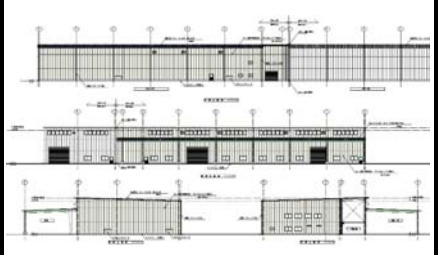


# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社テクノメタル 倉吉工場 第五工場	階数	地上2F
建設地	鳥取県倉吉市大谷字中尾363番地	構造	S造
用途地域	無指定地域	平均居住人員	10 人
地域区分	5地域	年間使用時間	6,048 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年12月20日
敷地面積	26799.53 m <sup>2</sup>	作成者	田原 梨香
建築面積	2,125 m <sup>2</sup>	確認日	2018年12月20日
延床面積	2,233 m <sup>2</sup>	確認者	田中 一義



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 44% (60 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 44% (18 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 44% (18 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
作業場として安全かつ作業効率を考慮した設計としている。	0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
0	0
Q3 室外環境(敷地内)	
建物高さ、外装、屋根の形状や色彩において敷地内建物と一体感が出るような計画とし、周辺環境とも調和するような植栽配置にしている。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
0	0
LR3 敷地外環境	
周辺より高地にあることから、雨水排水において周辺への影響が最小となるよう法面は緑地被覆し、土砂の流出に配慮し沈砂池を設置している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される